

第5回 環境基本計画検討委員会 会議結果報告（概要）

日時：平成24年4月23日（月）午前10時～12時

場所：野洲市役所 本館3階 第1委員室

出席：委員10人、傍聴7人、事務局4人

1. あいさつ

北出 委員長 / 野玉 環境課長

2. 報告・確認

- 各プロジェクトの実施体制について【資料1参照】

＜事務局説明＞ 前回資料について、「共催・協力」「協賛・助成」を追記
（委員意見）

- ・ プロジェクトだけに縛られず、新しい取り組みの芽を把握するために、その他の団体が行っている環境の取り組みを取りまとめていくことも今後の課題ではないか。
- ・ そうすることで次世代に繋げていくきっかけになるのではないか。また市民と行政の連携だけでなく、市民同士の連携にも役に立つだろう。
- 第4回検討委員会の報告内容確認 … 異議なし

3. 議題

- 行政の取り組み自己評価について【資料2・3参照】

＜自治会・市民団体との連携＞

- ・ 自治会の活動を環境基本計画に関連付けて、市民生活につながるようにしていかなければならない。
- ・ 停滞・中止している取り組みがあるが、環境基本計画で活かせるようにプロジェクトと連携するなど、この見直しの中に入れていくことも必要ではないか。

＜教育との連携＞

- ・ これからを担う子どもたちに環境を知ってもらうことが大事である。そのために、例えば「私たちの野洲」という社会科の副読本を活用することで、全小学校に啓発が可能だろう。

＜連携のための場づくり＞

- ・ 市民活動で得た実績や知恵を行政の担当者と分かち合うという場や資料を作ることが、新たな展開につながるのではないか。
- ・ そのために庁内各部署や利害関係者など、各主体が共有できる大きな課題を中心に設定し、その解決のために各主体で何ができるのか考えていくのはどうか。
- ・ その具体例として、食育が挙げられるのではないか。

（裏面に続く）

4. その他

(委員意見)

- ・ 行政の取り組みで不十分な点もあるが、連携して成果を挙げている点も着目する必要があるだろう。
- ・ (庁内) 実施計画で「PR・広報」「人材(後継者)育成」「教育」の視点が抜けているのではないか。

○ 次回の連絡

ワークショップ

5月15日(火) 13時30分～ 野洲文化ホール 小ホール

検討委員会

5月28日(月) 10時～ 野洲市役所 本館3階 第1委員会室